

松江工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	企業経営基礎	
科目基礎情報							
科目番号	0017			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	専門共通			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	4		
教科書/教材	特に指定なし						
担当教員	松本 協一,足立 修司,橋本 剛						
到達目標							
(1) 企業をとりまく経済社会環境について理解できた。(1-1) (2) 企業の戦略や組織及び経営計画や分析について理解できた。(6-3) (3) 企業経営に関連する最近のトレンドであるイノベーションやコーポレートガバナンス（企業統治）等についての理解が深まった。(6-3)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	企業をとりまく経済社会環境について正しく理解できた。		企業をとりまく経済社会環境について理解できた。		企業をとりまく経済社会環境について理解できない。		
評価項目2	企業の戦略や組織及び経営計画や分析について正しく理解できた。		企業の戦略や組織及び経営計画や分析について理解できた。		企業の戦略や組織及び経営計画や分析について理解できない。		
評価項目3	企業経営に関連する最近のトレンドであるイノベーションやコーポレートガバナンス（企業統治）等についての理解が深まった。		企業経営に関連する最近のトレンドであるイノベーションやコーポレートガバナンス（企業統治）等について理解できた。		企業経営に関連する最近のトレンドであるイノベーションやコーポレートガバナンス（企業統治）等について理解できない。		
学科の到達目標項目との関係							
全学科共通 G5							
教育方法等							
概要	エンジニアリング企業で長年、事業企画や経営管理を経験し、現在中小企業診断士や社外取締役として活動中の教員が、その経験を活かし、企業経営の基礎的な知識として、社会と企業とのあり方や、企業の戦略や組織、経営の実行の概略について講義を行う。これらの企業経営の基礎を理解することを目標とする。 具体的には、企業経営の仕組み、戦略の立案、企業組織と人間及び経営の計画・分析・統制などを、理論と演習を交えて講義を行う。 また企業の今日的課題や、実際の企業の概要も学習する。						
授業の進め方・方法	到達目標の達成度を、提出課題で90%、授業貢献を10%として評価し、60点以上を合格とする。出席要件を2/3以上とする。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	講義● 企業・会社の意義（経済活動、所有・経営等）、企業経営の基本（経営理念、形態、法人、取締役、規則等）				
		2週	★演習◆ビジネスモデル策定演習				
		3週	講義●経営戦略（ドメイン、資源配分、SWOT分析、PPM分析、製品ライフ、事業戦略の種類等）				
		4週	講義●企業組織（組織の進展、分業・協業、行動科学、ラインとスタッフ、事業部制、マトリックス組織等）				
		5週	講義●計画・実行・統制ー1（経営管理、経営計画、P D Cサイクル等）				
		6週	講義●計画・実行・統制ー2（財務諸表、B S貸借対照表、P L損益計算書、CVP分析等）				
		7週	★演習◆ ビジネスコミュニケーション・スキル演習				
		8週	講義●計画・実行・統制ー3（経営分析、資本管理、設備投資等）				
	4thQ	9週	演習◆ 会計ベーシック演習				
		10週	演習◆ 会計・財務分析演習ー1				
		11週	演習◆ 会計・財務分析演習ー2				
		12週	講義●経営の今日的課題（グローバル化、イノベーション、企業統治、M&A、スタートアップ、DX、ネットビジネス等）				
		13週	演習◆ IT (情報技術) 利活用演習				
		14週	演習◆ 業務プロセス演習				
		15週	講義／演習●全体復習、その他経営TOPICS、課題レビュー等				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

基礎的能力	工学基礎	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	技術者倫理 (知的財産、 法令順守、 持続可能性 を含む)およ び技術史	知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	1	
				知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	1	
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	2	
				技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	2	
評価割合						
		提出課題		授業貢献	合計	
総合評価割合		90		10	100	
基礎的能力		0		0	0	
専門的能力		90		10	100	
分野横断的能力		0		0	0	